



そこ知りシリーズ24回目は「てんてこまい」の今清水達洋です。ついに身内(妻の実弟、同じ顔)でございます。

おにぎり、昔話、天狗、てんてこまい……。達洋の繰り広げる独特で遊び心全開なその世界観は、例えるならヒップホップ&ロックンロール！面白ければなんでもアリ、「感じたものをそのまんま」カタチにしちゃう。

彼の家のガレージに行けば、スキー、スノーボード、釣竿、バイク、ゴルフクラブ、数々の車……。遊びだけでもまさにてんてこまいしてしまいそうです。。

『明日生きてる保証は無い。やっぱ毎日楽しんだほうがいいなと思って。そういう人と一緒に集まって、わちゃわちゃしたいっすね！へへへへへ。』

インタビューは2025.11.10 常盤神社にて



さあ、てんてこまいワールドのはじまり、はじまり〜！

てんてこまい
今清水 達洋
IMASHIMIZU TATSUHIRO

「てんてこまい」のやってることを教えて。



謙 (以下K): いよいよこの時が来ましたね～。ということで「てんてこまい」のやってることを教えて。おにぎりを作って販売してるってことだね。

達 (以下T): 来ちゃいましたね笑。 よろしくお願ひします!家が農家だったんですけど、**自分ちの米をやって何かやりたいなあ**とはずっと思っていて、そういう方に持っていました。**自分の米を使って、その米でおにぎり**っていう風にしたのは、まあ、**親父と同じことをしてたのがちょっと面白くなって。だからちょっと違うことをしたい**なってことで、まあこういうおにぎり屋さんで「てんてこまい」を始めたっていうのもありますね。**違うことをやりたかった。**

K: まあ...ぶっちゃけさ、その儲けとかでいくと、お米の販売の方がなんか良さそうにも思えるけど、そこはどうしておにぎりの販売にいったの？

T: あ〜、結構聞かれるんですけど、やっぱコメ売ってた方が、えっと楽し、お金に繋がるんですけど、これでおにぎりを作るっていう道を選んだのは、なんかその、**その場で食べに来てくれる人に会いたかったって……そう、人に会いたかった。**確かに、やっぱ仕込みとかするのは手間なんですけど、それを上回るその現場での楽しさとかがあるっすね。それが今一番楽しみでやって

ます。その、もう儲けとかはあんまり考えてない。いずれ結びつければいいかなと思って。

K: どちらかというと、仕事というよりは趣味って感じ？
ゴルフ行ったり、釣りに行くのと同じように？

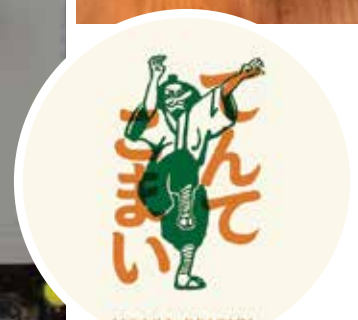
T: ああ、そっちの方が近いっすね!

K: カヨ(僕の妻)に聞いたら、達洋もナナちゃん(達洋の奥さん)もマルシェみたいなのが好きみたいだから、それもあって？

T: そうっすね!マルシェへ行く目的は、モノを見るのもそうなんですけれど、人と会いに行くっていうのもあったんで、やっぱり人に会いたっていうのが1番の目的です。

K: 「てんてこまい」のInstagram(tentekomai_jiyama)を見ると、**昔話風の語り口**で書いてるじゃん?良いよな、あれ。あれは達洋のなかで、何かそういうイメージがあるの？

T: ああ。イメージというか…今、このモノが溢れる世の中で、**古き良きもの**というか、**古いものをそのまま残してもいいんじゃないかっていう。**で、僕は何で昔話をチョイスしたかって言うと、うちの母ちゃんが、昔話好きで、それが10時から1時間ぐらい放送されてるんですけど、田んぼの作業に行っていて、10時ぐらいになったから休憩するかっていって母ちゃんが1回家に帰るんですよ。で、**30分ぐらいたって全然帰って**





こないで、心配して見に行ったら、母ちゃんがテレビ見てるんですよ。で、なにを見てるのかな〜と思ったら、昔話観てたんですよ！笑

K: ああ、ちょっと見出したら、離れられなくなっちゃったのね笑 (誰かみたいだな笑)

T: そうそう笑。それが、その日だけじゃなくて、あれ？結構定期的に時間になったらいなくなるなあみたいな笑。それが結局は昔話を見てるということに気づいたんすよ。で、オレがそこで昔話に興味を持ったんすよね。人を惹きつけるような何かがあるんだっていう。で、オレも昔話は好きなんすけれど……面白いけど、そこまでハマるほど面白いとは思ってなくて笑。でも昔話っていうふうにすると、なんだろう、全部フィクションにもできるっていうか。実際作る側としたら、面白おかしい話？現実じゃない話をこう、なんか色々と自分で作ってなんか面白いなと思って始めたっすね。わかります？その感じ。笑

K: なんとなく言いたいことはわかる。受け取る側の解釈で、広がるみたいなね。

T: ああ、そうです！そうです！あと、その「おいしい」と「面白い」

をお客さんに広めたくて、どうやってその、面白いを伝えようかなと思って。それが昔話だったんすよね。手段が。今SNSが普及していて、みんな使ってるんでSNSを使って面白さを消費者に伝えようと思って。

K: めっちゃいいじゃん。「おにぎり」と「昔話」っていうのが、なんかまた合うしね！

T: そう、それもそうです。それからいろいろリンクさせて。古き良きで、オレも天狗やってるし全部がマッチしたなと思って。

K: 昔話のネタってどうやって作ってるの？

T: ああ笑。これはほんとにふざけた感じっすね。もうホント、オレがこう作業している風景？今まで思ってたこと？を、面白おかしく作ってる。はい。で、なんかこう……田んぼとか作業している人じゃないと見えないところが見えるから、堺の石が地藏になんて、絶対見えないしハハハハ！オレちっちゃい時、田んぼに行って、もう本当お地藏さんかと思ったんすよ、その石が！あ、これじゃあオレ物語にしようかと。ほんと、ちょっとしたインスピレーションというか、そういうので作ってますね。笑

K: 本物の昔話も実際そうなんだろうね。

T: ああ、そうそう、昔話って本当の話なのか、作った話なのかっていう……その曖昧さもちょっと好きなんすよね。で、オレSNSに投稿したら面白いことに、本当に地蔵様に見えた人がいて笑 「え、壊しちゃったけれど大丈夫？その後!？」みたいな連絡が来て「あ、これ、お地蔵さんじゃなくて『堺』を知らせるためのただの石なんすよ」って言ったら「ああ、そうだったんだ〜良かった。」みたいなことがあって。そういうのも面白いなと思って。ハハハハ!

K: 「てんてこまい」の名前の由来っていうのは?

T: あ、もうこれはずっと前からつけたかった。名前だったんですけど「てんてこまい」って名前にしてめっちゃ今良かったって思ってるのが、保険会社さんじゃないけれど……笑 **失敗した時でも「すみませ〜ん! てんてこまいで〜笑」**みたいに言えば「わはは〜」で済ませられる保険みたいな。ハハハハ! 笑

K: うまいね〜笑 おれもそうしようかな!

T: でも「まい」はお米の「マイ」でもあるし、「舞」だから舞ってる風

にも例えられるし、僕自身、釣りにゴルフにバイクだとか、もうほんと、休みの時は遊びたいので、仕事に遊びにでてこまいしてることも伝えたい笑 はい。

K: すごい良い世界観だね、達洋、天狗もやってるしな。

T: そうそう! **あと、いろんな人を巻き込みたいんですよ。オレのてんてこまいを、みんなに伝染したい。**へへへへへ。みんな巻き込んで、てんてこまいを楽しくしていきたい。例えば今近所のキノコ農家さんにコラボしませんかとかも話していて、そういうのが面白いっすね。

K: 達洋、農業大学出て、すぐに実家に入ったんだっけ?一回どこか行ってみようって考えはなかった?

T: あ〜、全くなかったすね。一旦どこか行って、修行とかいう話もあるんですけど、そのまま家でやったから、今の自分になったって感じっすね〜。

K: そういう達洋の、余計なことせずに素直に考えるってとこ、すごい良いと思うわ!



世の中的には、若者の農業離れてっことだけれど、
実際やってる人からして農家についてどう思ってる？



T: オレ、最初はやっぱりイメージ悪かったんすよね。元々、3K(汚い、稼げない、カッコ悪い笑)でも、いま米だけで言うと、値段も上がって、**3Kが真逆の展開になってきてる**気がするんすよね。でも、最近農家、盛り上がってきてる気はするんすよね。自給自足とか……結局はそこにたどり着きそうな感じはしますね。生きる上でみんなやることにはなるんじゃないかと。もしこれから農業やりたいって人なら、一から土地も買ってとなると大変なんで、高齢者さんのところにそっくり入り込む。これがいいんじゃないかと思います。ノウハウもあるから。**オレも自分の子どもたちには、まず稼ぐ姿、生き生き楽しそうにしてる親父の姿を見せたい。で、いずれ一緒に農業したいって思ってもらえたら最高っすね。**

K: おにぎり屋さんやってみてどう？

T: やっぱ、コメ販売している時と違って、作ったのを目の前で食べてもらってるのを見れるから、**みんな口いっぱい頬張って「んめ〜！」みたいな感じに食べてるのを嬉しいっすね。**

K: あれ、ちょっと安すぎやしませんか？ オレらはありがたいけれど笑

T: そうっすね、まあ、米屋だからできるっていう値段設定かなとは思うんですけど、ちょっとそこはこれから改善していこうかと笑笑 今んところはこのままでもいいかなと思ってます。

K: きっと面白いよね。キッチンカーも買ってステッカーとかも

作ったりして、まさに自分の城を築いていっているようでしょ？

T: そうっすね。古き良きものを残していきたいんで、ちょっと言っちゃうと、**これから紙芝居とかも作っていききたい。ボクとコメの恋愛ストーリーみたいな笑。あと、服も好きだから半被とか、手ぬぐいとか、アパレル系も行く予定です。**

K: めっちゃてんでこまいするじゃん笑

T: ハハハハ！はい。既にてんでこまいなんですけど笑 この、今の僕が出来上がったきっかけがコロナ禍なんすよね。**ちょっと体調崩した時期があったりして、改めて思ったのが、明日生きている保証は無いなと。**ちょっと重い話になっちゃうんですけど。そう考えたときに、**やっぱ毎日楽しんだほうがいいなと思って。それで今の自分があるんすけど。やりたいことをやる。……オレが今の若いものに伝えたいのが(オレも若いんすけど笑)なんでもいいから、一つのことに執着して、なんか色々やってもらいたいっすね。僕もそういう人と一緒に集まって、わちゃわちゃしたいっすね。へへへへへ。**

K: 最高じゃん。やっぱり、いまの達洋がそうやって好きなこといろいろできるのって重門さん(親父さん)たちのおかげだよな。安定した米農家という土台があるから、しっかりチャレンジできるよな。いい環境だ！

T: そうそうっす。本当にそうなんすよ。**代々やってきてもらった米農家。本当にオレ、ツイてると思いますね。**なかなか伝えられないっすけどね。一番それは思いますね。直接言えないんで。最後に親父に感謝の気持ち入れといてもらえれば笑

K: それ、一番大事だから！笑

(インタビュー終わり)





【インタビューを終えて……】

たしか、達洋とは彼が高校生の頃に初めて会いました。その頃から、あの懐っこい笑顔で、いつ会っても楽しそうに、謙さん、謙さんと慕ってくれ、遊びに誘えば、だいたいノリ良く返事をしてくれます。(家族の皆さん、ご理解をありがとうございます笑)とにかく毎日を楽しく、やりたいことはひとまず何でもやっちゃう、という彼の好奇心旺盛スタイルは、田んぼ農家万歳！を全開に体現しており、

これから農業を志す人にとって、大いなる道標になることでしょう。彼がこう伸び伸びと育ったのも、働き者で心穏やかな重門さん、ゆみ子さんの影響であるということは、2人に会えばそれがすぐにわかります。活きのいい弟で本当によかったです。さあて達洋、これからどんな舞を見せてくれるのか、楽しみだね～！

てんてこまい



移動販売のため
連絡先・詳細は
インスタにて！



「むかしむかし、奥信濃の常盤村では……」
昔話の体で綴られる物語は田んぼと共に暮らす人々の現代の寓話。
軽妙な語り口が癖になり、思わず虜になるインスタを要チェック！

Instagramフォローも
よろしくお願いします!!





バックナンバー

KEN TIMES インタビュー

河野謙のホームページでご覧いただけます

「野沢・飯山をメインに事業を行なっている方」にインタビューさせてもらっています。地域の皆さんがつながり合い、地元がより盛り上がっていったらいいな~と思っています。



「ぼっぼ動物病院」
松川 恵さん



「有限会社 丸見屋商店」
河野 晃久さん



「リラクゼーションNemu」
福澤 美里さん



「nozowa green field」
河野 健児さん



「やよい農園」
滝沢 弥生さん



「and sugar」
高坂 沙也香さん



「ambis」
福澤 龍一さん



「翻訳家」
辛島・ジェニファー・フランセスさん



「POWERDRIVE R117」
庚 敏久さん



「BODY CARE SALON WISH」
白石 里香子さん



「タイコア合同会社」
ロビンソン・ガードナーさん
奈津子さん



「山本園」
山本 亮介さん
愛さん



「野沢出張マッサージ
サオリセラピー」
齊藤 沙織さん



「Paint Up Sugar」
佐藤 亮一さん



「タイ料理 クアタイ」
市川 良樹さん
史さん



「ひぐらし農場」
木内 晴基さん
(妹) マミさん



「合同会社
MonkeyBusinessCO.」
中嶋 サマンサさん



「Snowboarder's base
NEO BAR」
牧野 千尋さん



「ひなたやまデザイン」
高野 理恵子さん



「Faith Farm」
水野 尚哉さん



「EO service」
上野 祐也さん



「ペンション シュネー」
古川 知也さん



「清水牧場」
清水 大さん



「てんてこまい」
今清水 達洋さん

皆さんのインタビュー
バックナンバーは、ホームページから
ご覧くださいね！

バックナンバーは「河野謙」で検索

<https://konoken.com>

